

# 佐潟自然情報

## 【2月】

2月は如月（きさらぎ）といひます。由来のひとつに、まだまだ寒さが厳しい時期のため衣服をさらに重ね着する（着更着）とあります。佐潟は例年、ガン類やハクチョウが北帰行という時期ですが、今年は気温が低く寒い日が続いたり、雪景色になったりしています。そのせいかわかりませんが、ハクチョウだけでなくガン類も長期滞在のようで佐潟や周辺で見られます。

カモたちは日中、休息したり、羽繕いをしたり、求愛ダンスをしている様子が見られます。立春が過ぎ、太陽の日差しの暖かさや日増しに日が長くなるのを感じます。春はそこまでやってきているようです。冬に見られるハクチョウやガンの仲間やカモたち等、繁殖地へと移動が始まる時期ですね。

また、周辺の木々も暖かな春を待ちわびているようです。



〈 佐潟の様子 〉

## ■2月に見られたもの

### 〔植物〕

オオイヌノフグリ、ノゲシ、ヘクソカズラ（実）、  
ヤツデ、ヤブツバキ、アオキ、



〈 アオキ 〉

### 〔鳥類〕

キジ、ヒシクイ、マガン、ハクガン、シジュウカラガン、コハクチョウ、オオハクチョウ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、トモエガモ、コガモ、ホシハジロ、ホオジロガモ、ミコアイサ、カワアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、オオバン、タゲリ、トビ、チュウヒ、オオタカ、ノスリ、カワセミ、コゲラ、モズ、オナガ、ミヤマガラス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、アトリ、カワラヒワ、ベニマシコ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン



〈 エナガ 〉



〈 オナガガモ 〉



〈 トモエガモ 〉

### 〔その他〕

オオカマキリの卵、ハラビロカマキリの卵、  
ミシシippアカミミガメ、